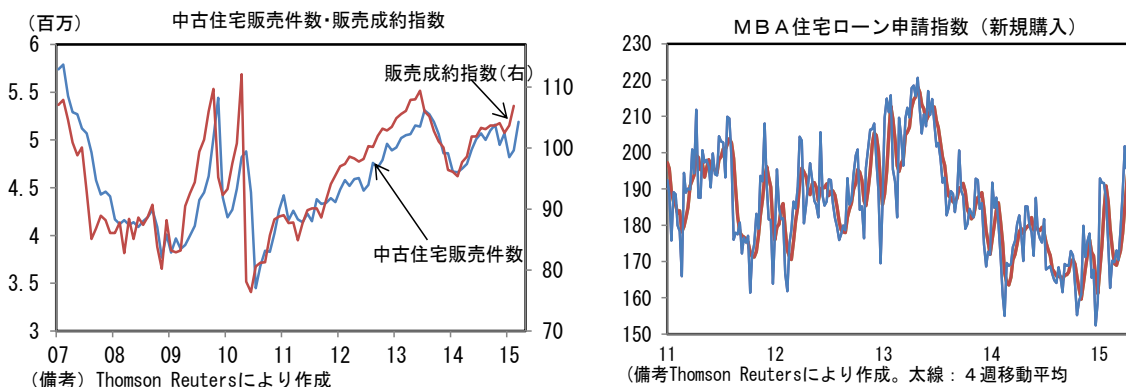
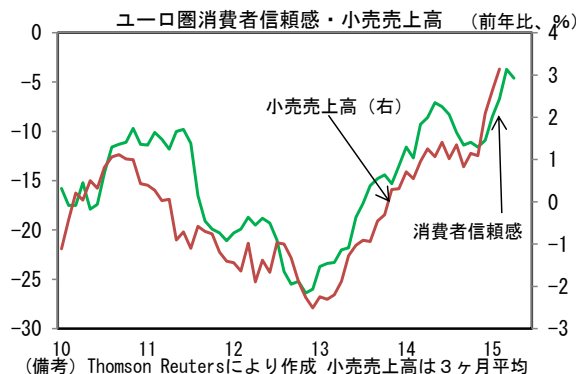


### 【海外経済指標他】～住宅市場：持ち直しの動き強まる～

- ・3月中古住宅販売件数は前月比+6.1%、519万件と市場予想(+3.1%、503万件)を上回ったうえ、前月分も上方修正(488万件→489万件)。6.1%という上昇幅はリーマンショック後のリバウンド局面にあたり住宅購入支援策が効いていた2009年後半以来で最も大きい。3月は主力の戸建てが+5.5%と堅調だったほか、集合住宅も+11.1%と強く伸びた。今回の強い結果は既発表の中古住宅販売成約指数の改善と整合的であるほか、NAHB住宅市場指数の反発を裏付けるものである。先行きについては引き続き在庫不足がボトルネックとなるものの、所得環境の改善を反映した堅調な需要に支えられ、緩やかな改善が続くが見込み。先行指標のMBAモーゲージ申請指数(新規購入)は3月半ば以降に急反発しており、こうした見方を強くサポートしている。



- ・4月ユーロ圏消費者信頼感指数は▲4.6と市場予想(▲2.5)に反して前月(▲3.7)から悪化。5ヶ月ぶりの悪化だが、依然として高水準を保っているほか、消費の加速を示唆するには十分なレベルであり悲観は不要。雇用・所得環境の改善というベースに原油安効果が加わり、低金利・株高という心地良い金融環境もサポートしているのであれば、消費者が財布の紐を締めるとは考えにくい。



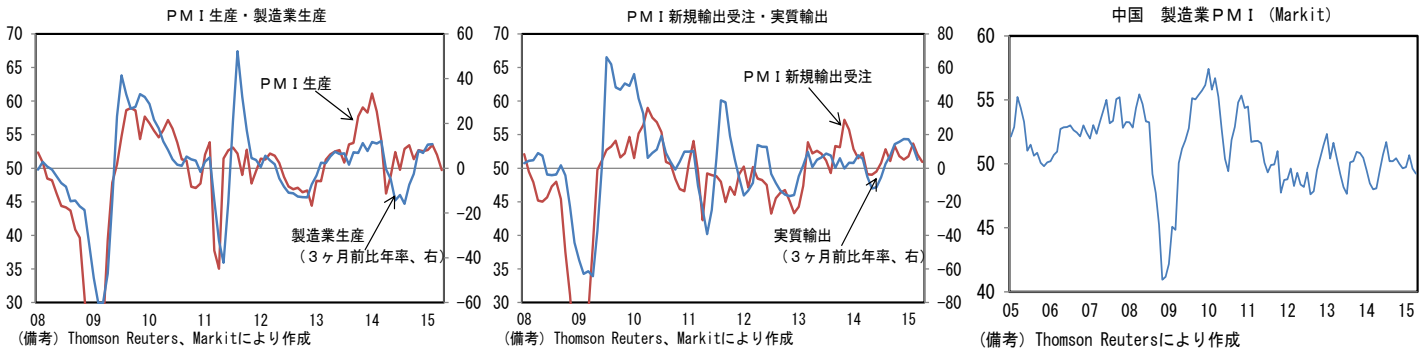
### 【海外株式市場・外国為替相場・債券市場】

- ・前日の米国株は反発。中国がクレジットカードの海外参入を認めたことからクレジットカード大手が急伸。好調な中古住宅販売件数も追い風となった。欧州株式市場は区々。

- ・前日のG10通貨はCHFの弱さとGBP、AUDの強さが目立った。CHFはS N Bがマイナス預金を適用する銀行口座についてその対象を広げると発表したことを受けて大幅下落（1.7%）。GBPはタカ派なM P C議事録を受け、AUDは予想対比強めの豪トリムC P Iを受けてそれぞれ上昇。USD/JPYは米国時間の米金利上昇を受けて日本時間の下落を帳消しにした。
- ・米10年金利は+7.0bpの1.979%。M P C議事録を受けたギルト債の下落に追随、株高もあって日中の安値圏で引け。欧州債市場はコア国軟調。独10年金利は6.4bp上昇（0.165%）。他方、ギリシャ10年金利は、同国の資金繰りが6月まで持つとの見通しを同国当局者が発表したことを受けて急低下（▲79.2bp）。E C Bが同国のE L A融資枠を15億ユーロ拡大し、755億ユーロとしたことも好感された。

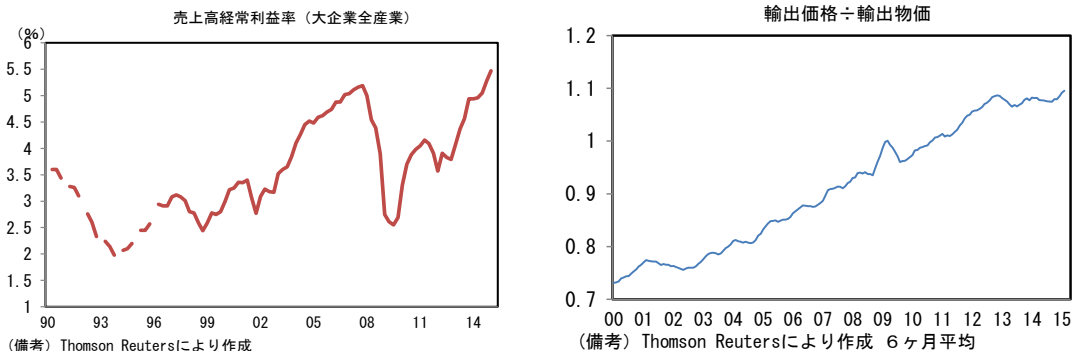
**【国内株式市場・経済指標他】～日中PMI：ともに弱い～**

- ・日本株は良好な需給環境が続く下、米株高を受けて続伸スタート。
- ・日本の4月製造業PMIは49.7と前月（50.3）から悪化、9ヶ月ぶりに50を割れた。生産（52.0→49.7）、新規受注（49.4→48.5）が揃って50を割った一方、雇用（49.8→50.3）は改善。入荷遅延は指数押し上げに寄与した。新規輸出受注（52.0→51.0）が50を保ったことは救いだが、失望的な評価は覆らない。
- ・4月中国製造業PMIは49.2と前月（49.6）から悪化。生産（51.3→50.4）、新規受注（49.8→49.2）が揃って軟化した。新規輸出受注（49.8→50.6）の改善はポジティブ。雇用（47.4→48.0）の改善を踏まえるとヘッドラインほど弱い印象は受けにくい。



**【注目点】**

- ・日経平均の2万円回復を受け、それがバブルなのか業績に裏付けられたものなのか議論が活発化している。そうしたなかで注目されるのは日本企業の売上高経常利益率（日銀短観、15年度計画、大企業全産業）が既往最高を更新していること。これには円安・原油安の他にも数多くの要因が絡んでいるが、その一つとして輸出市場における高付加価値化が注目される。輸出製品の高付加価値化は、品質調整（ヘドニック）済みの輸出物価（日銀算出）とそうした調整を施していない輸出価格（財務省貿易統計ベース）を比較することである程度は定量的な測定が可能になる。輸出物価の（輸出価格に対する）相対的低下は高付加価値を示すからだ。この推移からは2000年代を通じて高付加価値化を推し進めてきた様子が見て取れる。低価格戦略に見切りを付け、高付加価値化に舵を切った日本企業の戦略転換を映し出しているのだろう。輸出が著しく増加していないにも拘らず、日本企業の収益が既往最高を更新できる理由の一つだ。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

<主要株価指数>

	終値	前日比
日経平均※	20204.57	70.67
N Y ダウ	18,038.27	88.68
D A X (独)	11,867.37	-72.21
FTSE100 (英)	7,028.24	-34.69
CAC40(仏)	5,211.09	18.45

<外国為替>※

USD/JPY	120.04	0.13
EUR/USD	1.0698	-0.00

<長期金利>※

日本	0.314 %	0.008 %
米国	1.979 %	0.070 %
英国	1.714 %	0.147 %
ドイツ	0.165 %	0.064 %
フランス	0.415 %	0.046 %
イタリア	1.392 %	-0.060 %
スペイン	1.372 %	-0.078 %

<商品>

N Y 原油	56.16 <sup>ドル</sup>	0.90 <sup>ドル</sup>
N Y 金	1186.90 <sup>ドル</sup>	-16.00 <sup>ドル</sup>

※は右上記載時刻における直近値。図中の点線は前日終値。

(出所) Bloomberg

